

# デザイン総合実習Ⅱ

Design Synthesis Practice II

06

張 浦華（准教授）

三谷 篤史（講師）

小宮 加容子（講師）

柿山 浩一郎（講師）

長谷川 聡（助教）

デザイン学部 製品デザインコース

# プレゼンテーション

◎学生より【G】アイデアスケッチ・スタディモデル・3面図(図面)  
の披露(一人、5分程度)

+ 教員からの講評

\*進行速度は、各自異なります。

立ち戻った所の部分の発表でも問題ありません。

大変ですが、毎週の成果を発表する癖をつけましょう。

タイムキープを行います。3分で一鈴 4分で二鈴をならします。

# 出題

決定したコンセプトに基づく製品(サービス)には、**視覚的、物理的なデザイン要素を基準とした魅力**も込めなければならない。

スタイリング・カラー・質感・使い方などに関しても、**新しい提案・概念を込めつつ、**  
明確な狙いに基づいた設計を行わない

**【H】モックアップの制作、レンダリングを行わないさい。**

# モデル作成(工房利用)に関して

長谷川先生よりご説明頂きます。

# レンダリングに関して

サンプル参照

## 演習課題

1. カラーの決定に関して、  
色の持つ心理的・生理的影響を考慮した色彩設計を行いなさい。
2. 質感の決定に関して、  
素材から受ける、手触り、感触、温度感等を考慮した  
素材選択を行いなさい。
3. 上記の表現を目的に  
モックアップの制作、レンダリングを行いなさい。

## ▼次回までの課題▼

### 【H】モックアップ・レンダリング

上記に関する設計報告を、一人5分程度で解説してもらいます。